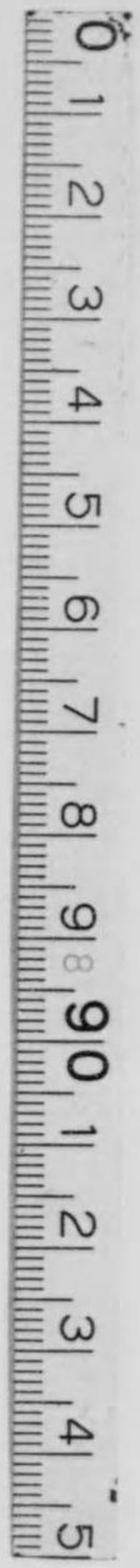


416
93



序

此の集に載する所の古代藝術遺作は、支那新疆省吐魯番地方より出でたるものであります。此地方は古くより佛教の流布した處でありまして、漢時代には既に佛教が盛んでありました。西域佛教は佛滅後二百年、マカダ王(摩揭陀)チャンドラグプタ(旃王羅笈多)の孫アソカ王(阿育王)の佛教傳播の時より行はれたるものであります。阿育王の即位は西暦紀元前二六〇年といふのでありますから、歴山王が波斯を亡ぼした時代より六十餘年後で、支那では周の時代であります。それから秦、漢以來、此地方を經由して佛教の東漸を見るに到つたのであります。前述の如く此地方は佛教傳播の最も早い處でありますからその佛教美術の遺作に在つても印度の形式に據つたものが多きを占めてゐる次第であります。西域佛教美術に關しては曩に發行しました西域古代藝術の序文に記してありますから、茲には贅言を費さぬことゝいたします。

大正拾三年三月

編者識

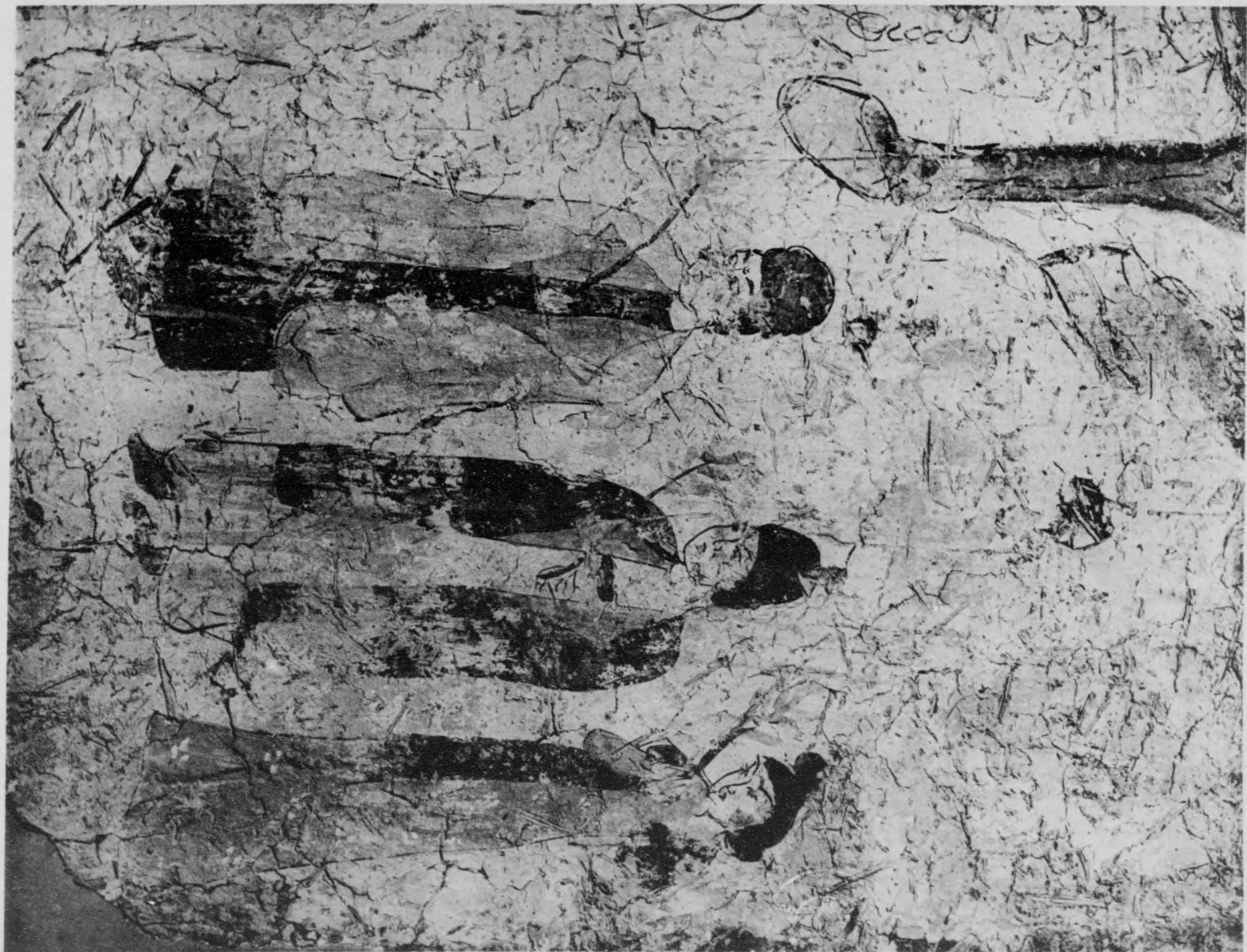
大正
13. 5 22
内交

古代東方美術集

目次

(一)	吐魯番地方ニ於ケル「クリスト教」教會堂ノ壁畫
(二)	全續キ
(三)	吐魯番地方ニ於ケル肖像壁畫
(四)	全續キ
(五)	寺院本堂旗ノ肖像畫
(六)	吐魯番地方ニ於ケル古坑壁畫ノ斷片
(七)	全
(八)	吐魯番地方ニ於ケル寺院本堂壁畫
(九)	全續キ
(一〇)	ヤール街寺院本堂ニアル鬼子母神畫像
(一一)	吐魯番地方ニ於ケル寺院本堂ノ本尊佛畫像
(一二)	吐魯番地方ニ於ケル露西亞教禮拜堂ノ壁畫
(一三)	吐魯番寺院ニ於ケル本堂ノ壁畫
(一四)	寺院本堂壁畫ノ吒枳尼天
(一五)	紙本佛畫
(一六)	紙ニ画ケル繪ノ斷片
(一七)	ヤール街寺院本堂ニアル旗
(一八)	絹本佛畫ノ斷片
(一九)	全
(二〇)	絹本畫像斷片
(二一)	種々ナル壁畫ノ斷片
(二二)	全
(二三)	別種
(二四)	クイヂョール摩耶坑壁畫
(二五)	摩耶坑天井畫
(二六)	摩耶坑内ノ畫
(二七)	摩耶坑内ノ畫
(二八)	クイヂョール寶坑ノ後壁畫
(二九)	全
(三〇)	孔雀坑口壁畫
(三一)	全
(三二)	壁畫
(三三)	全

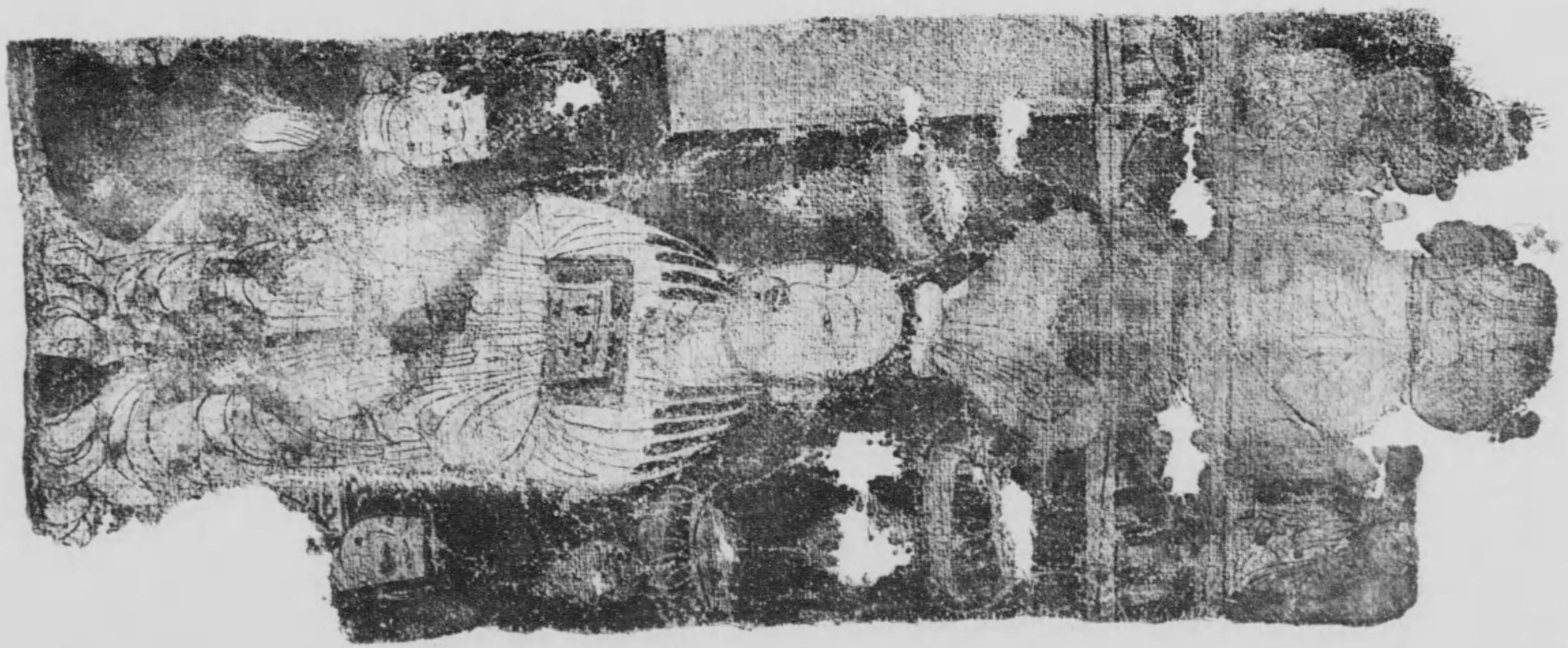
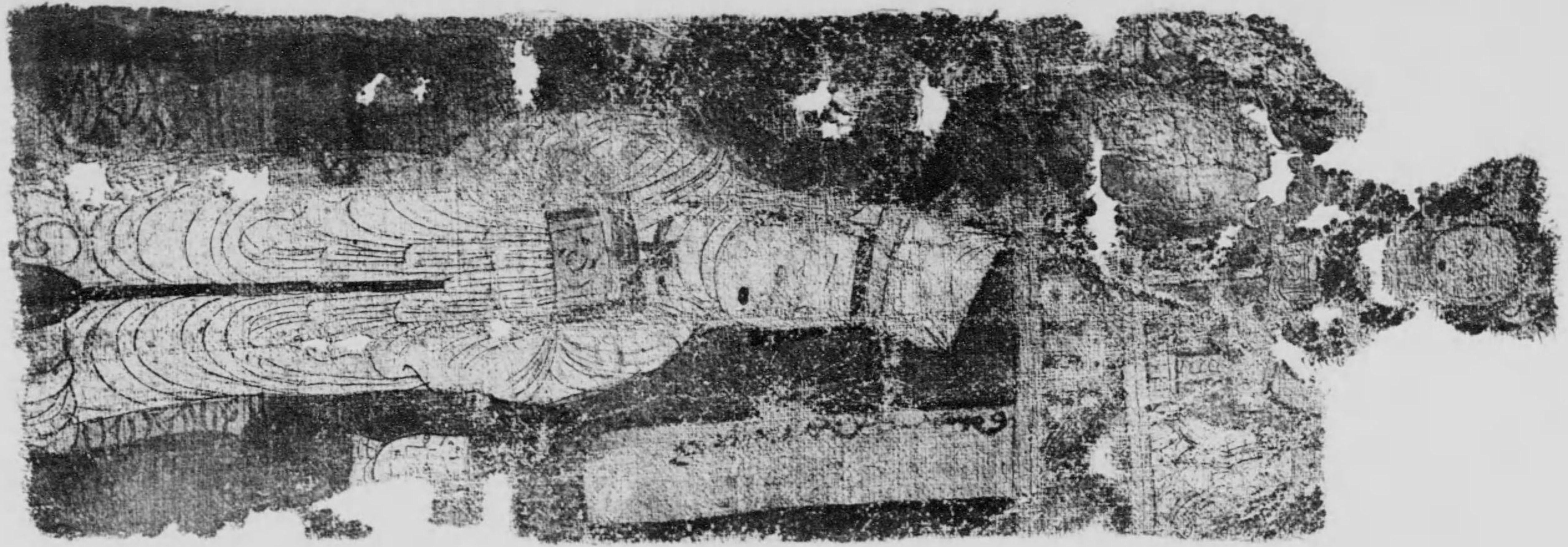


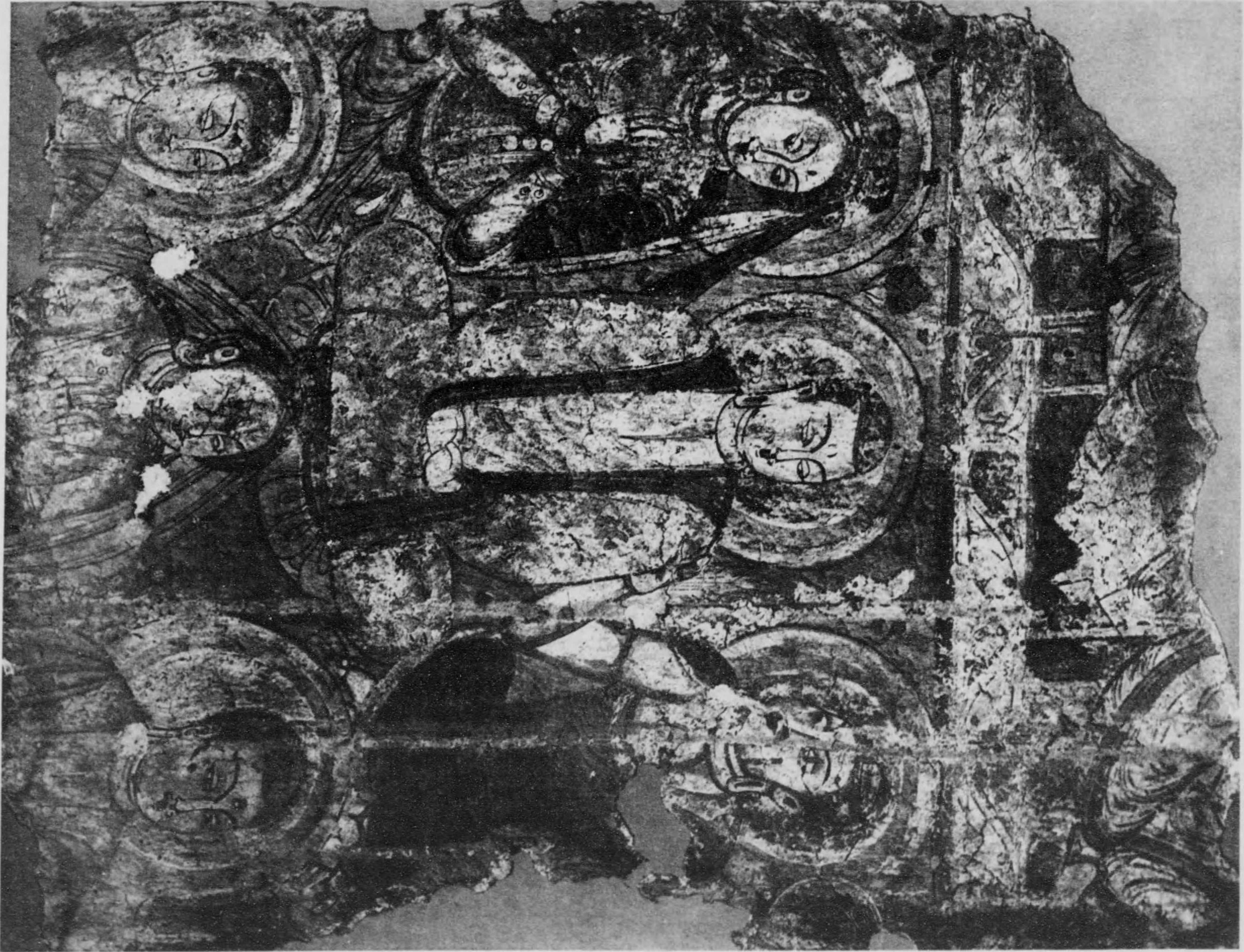




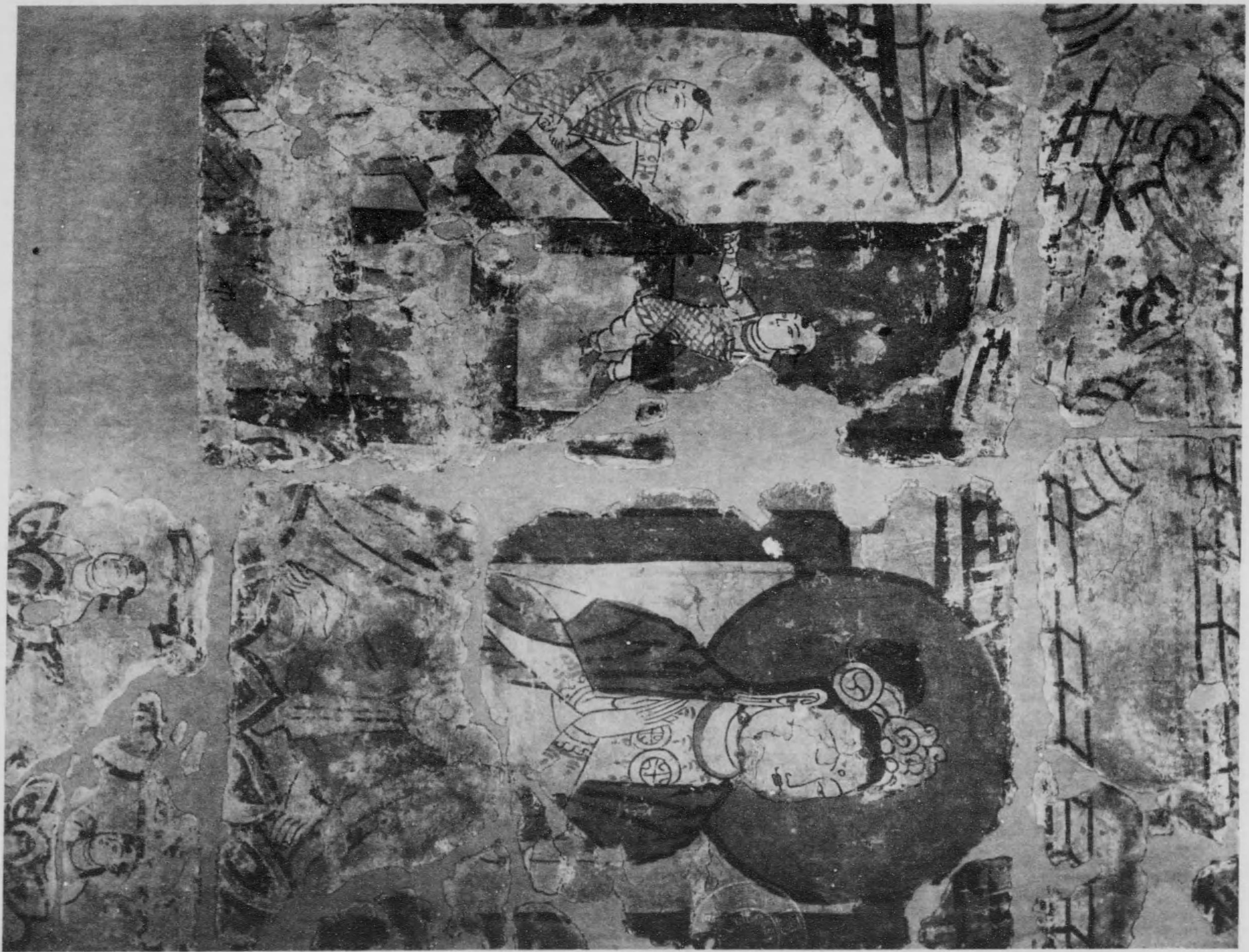












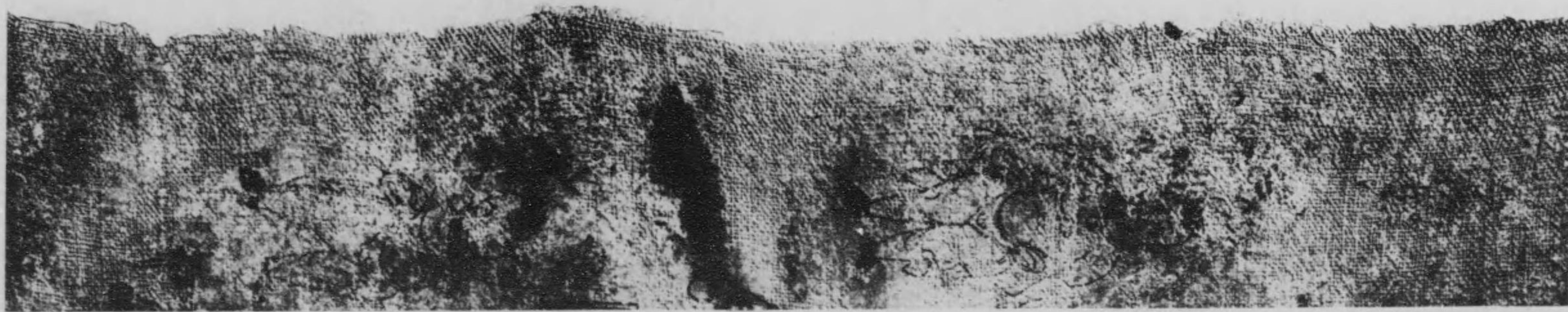
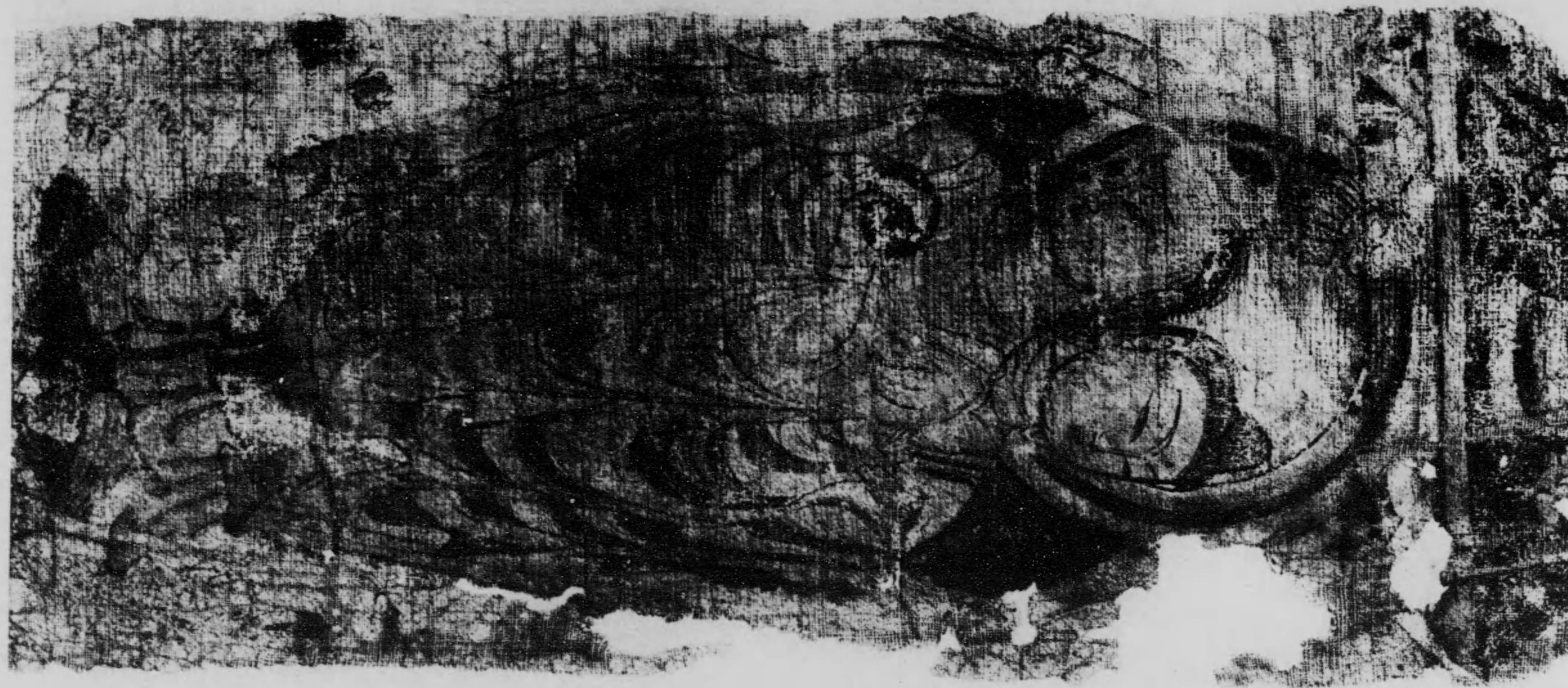


露光量違いの為重複撮影

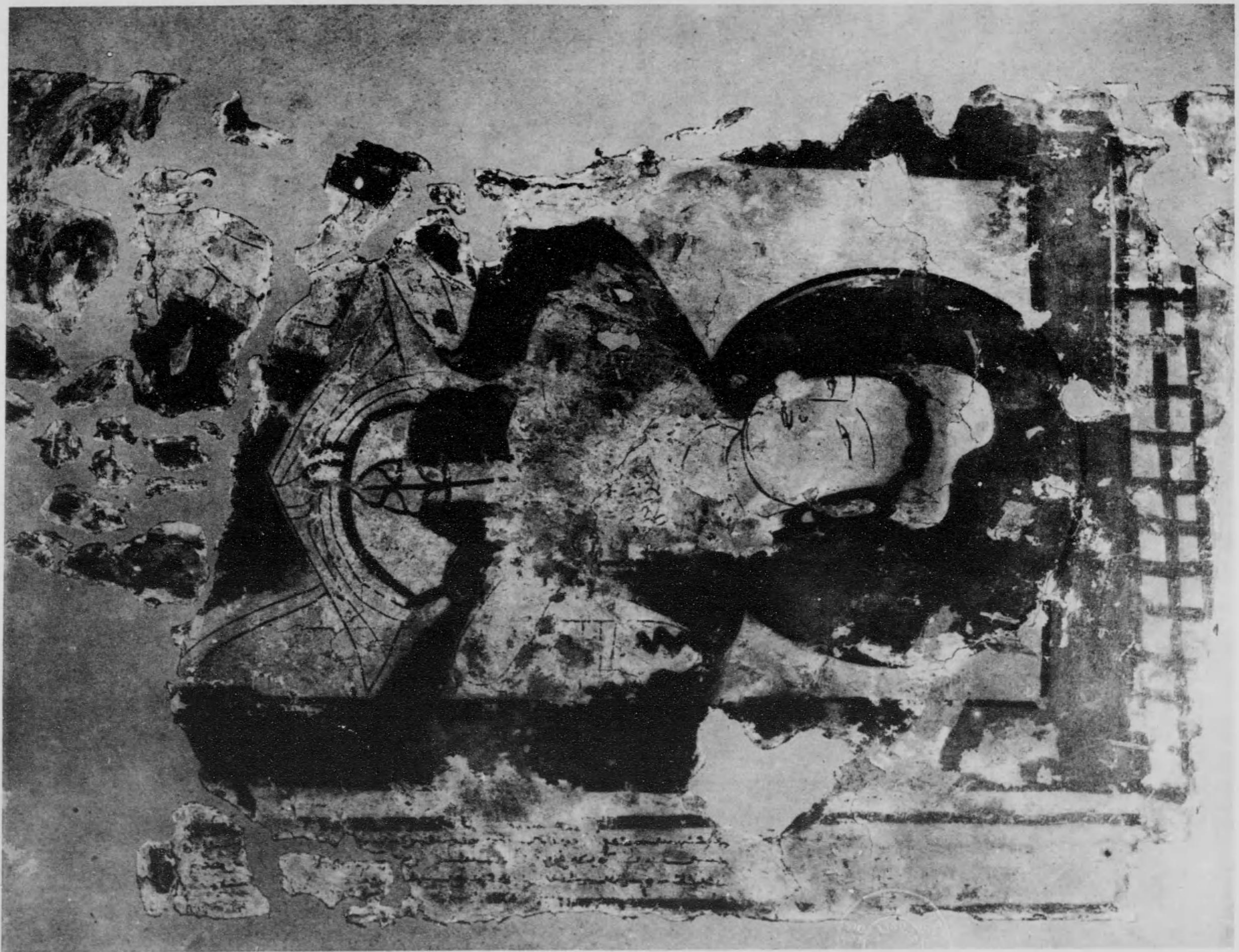


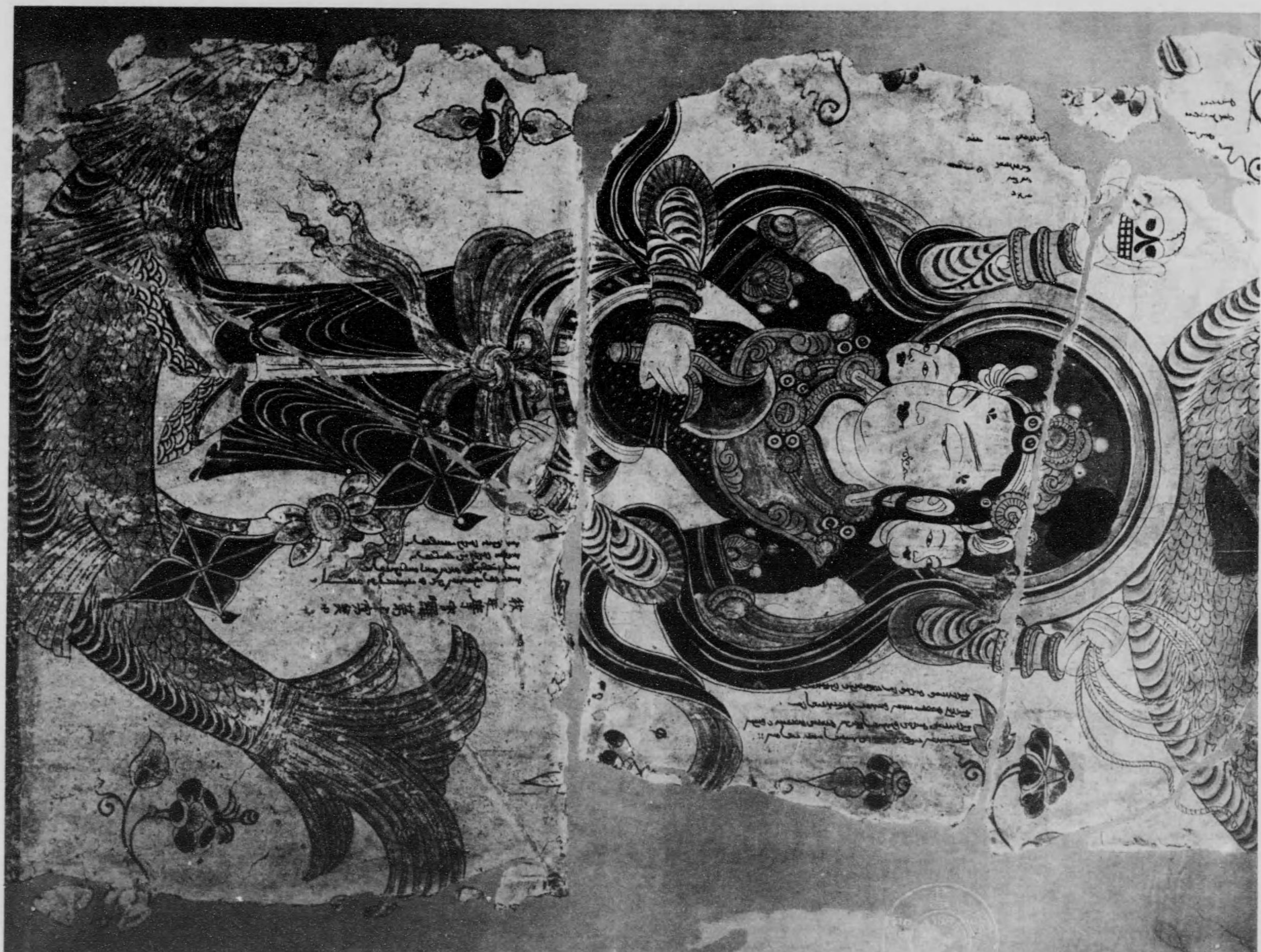
露光量違いの為重複撮影













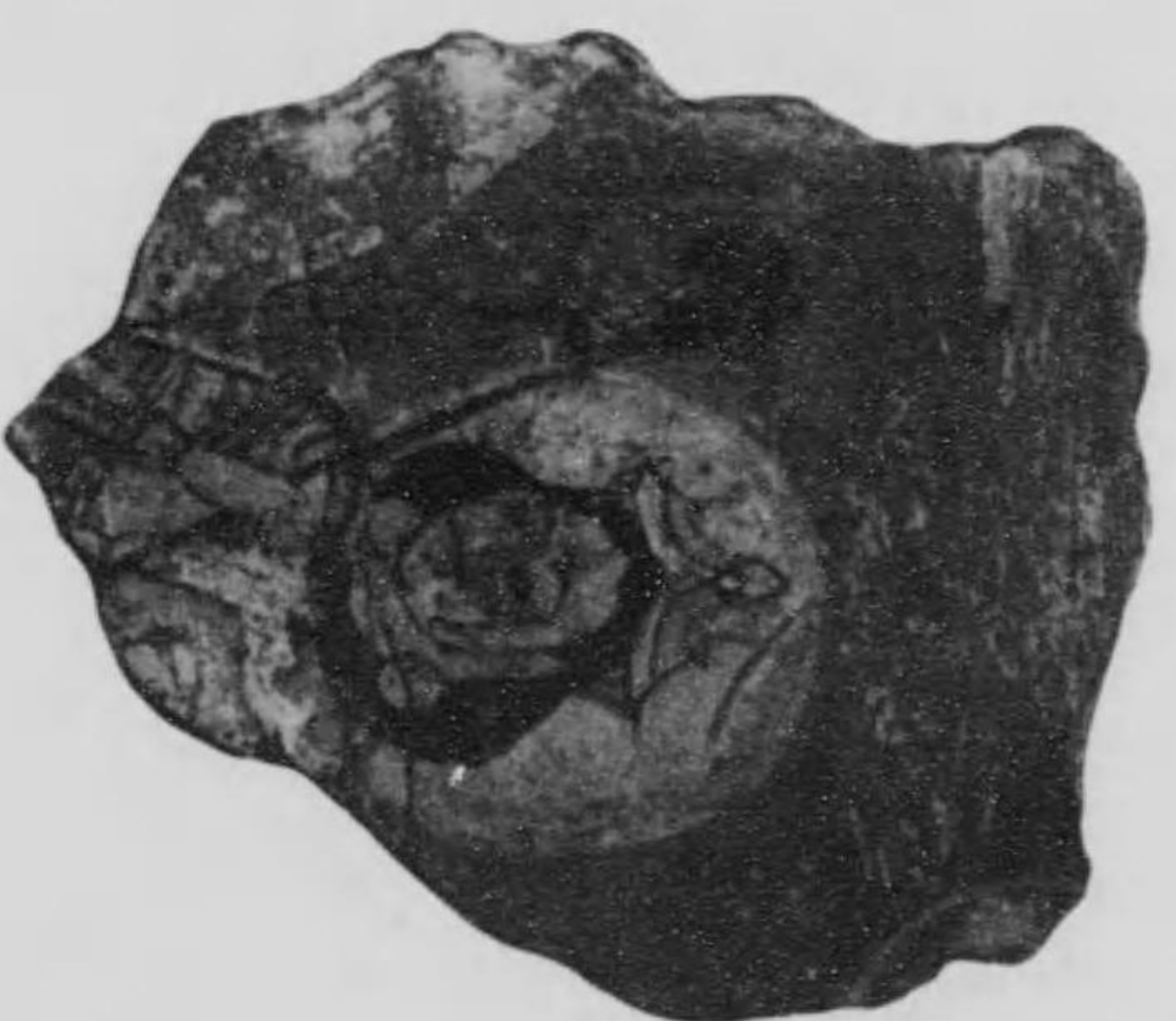


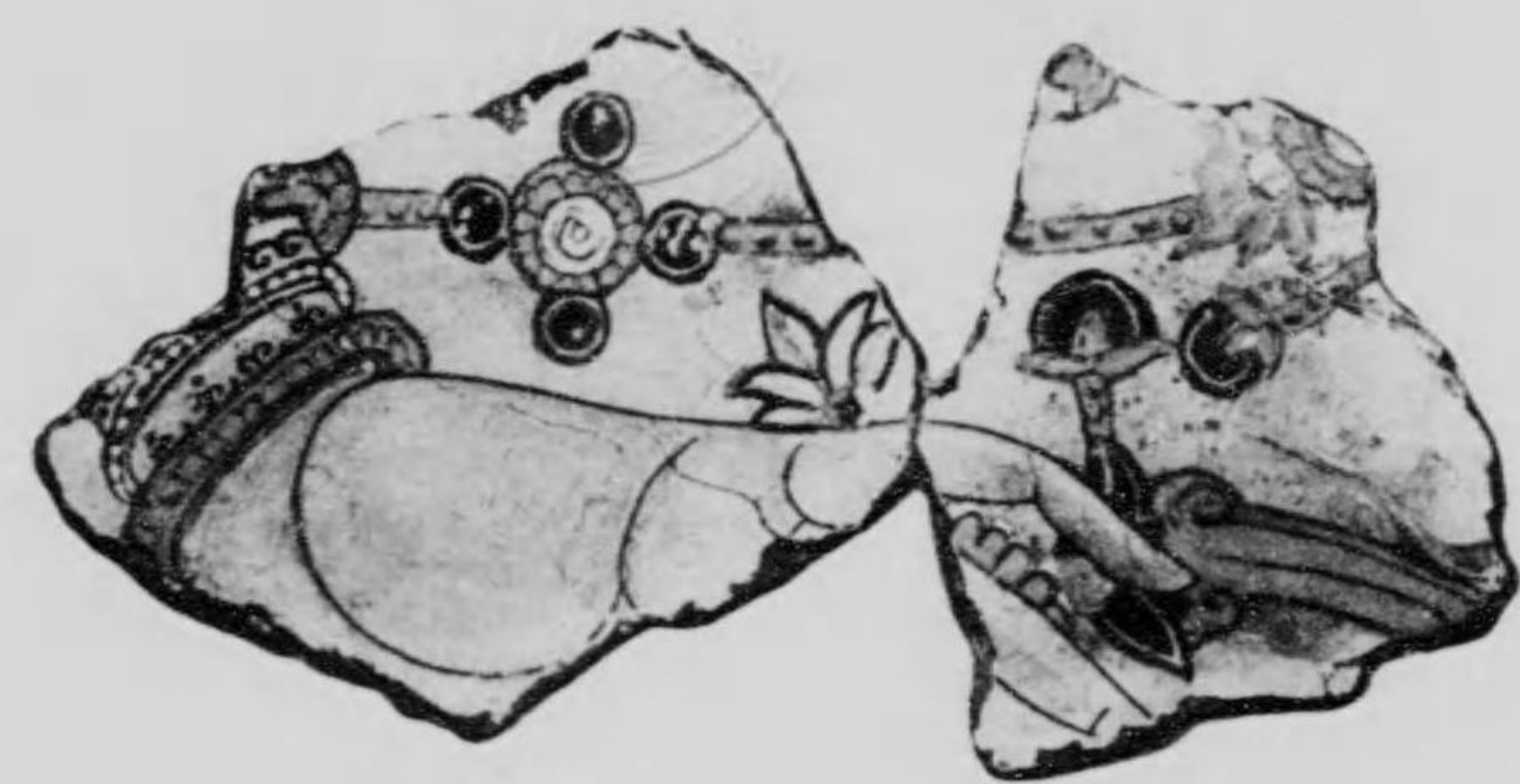




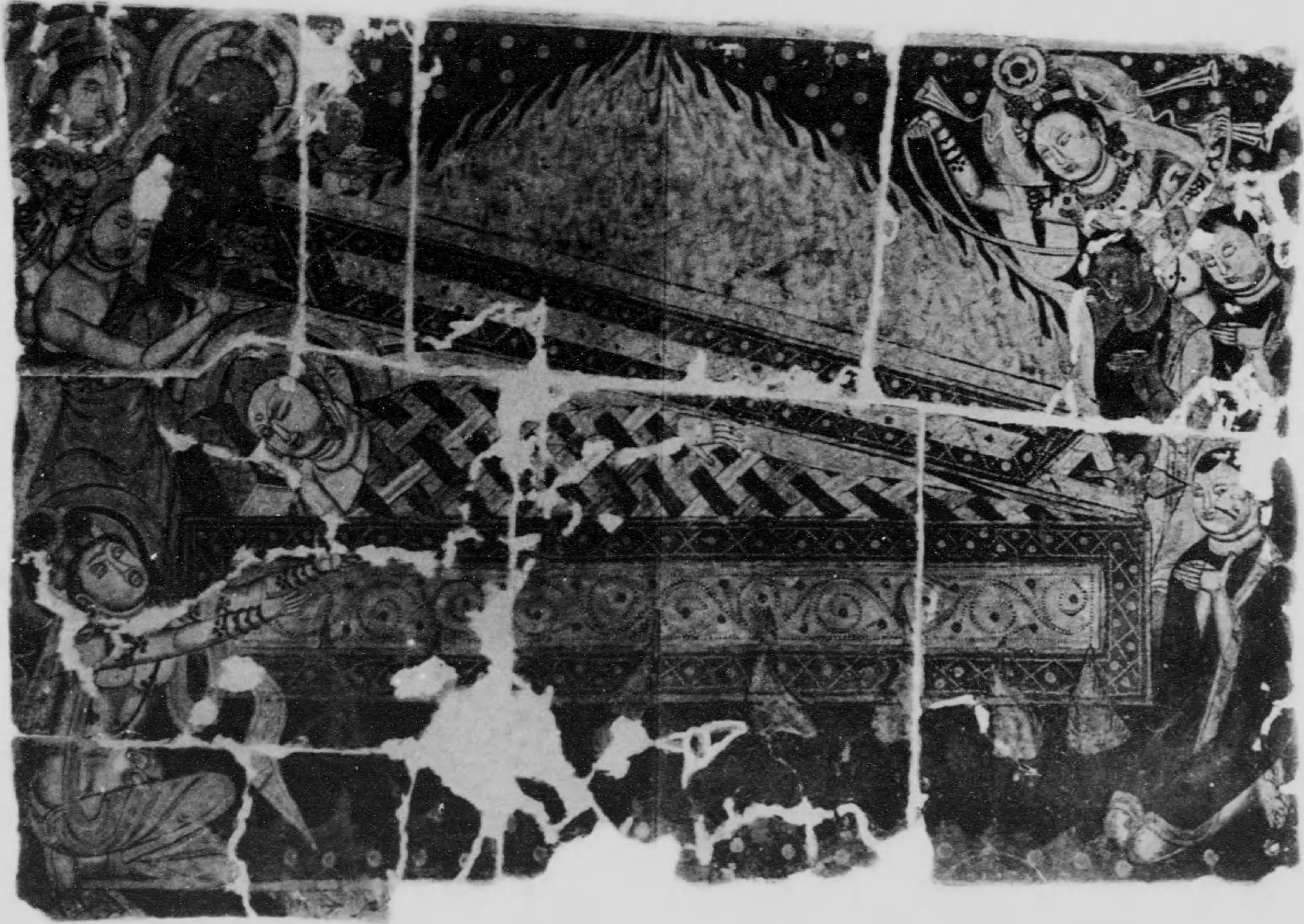




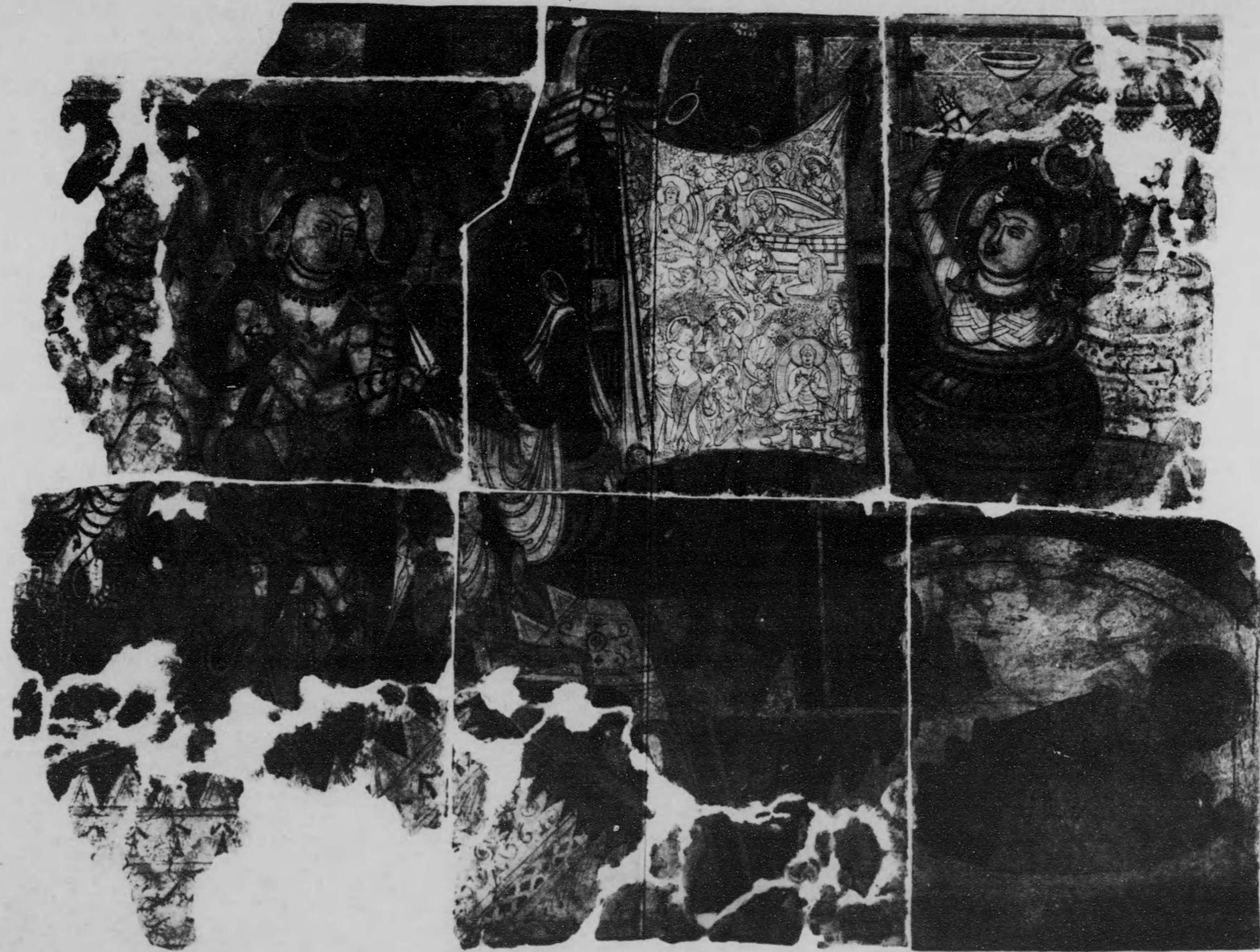










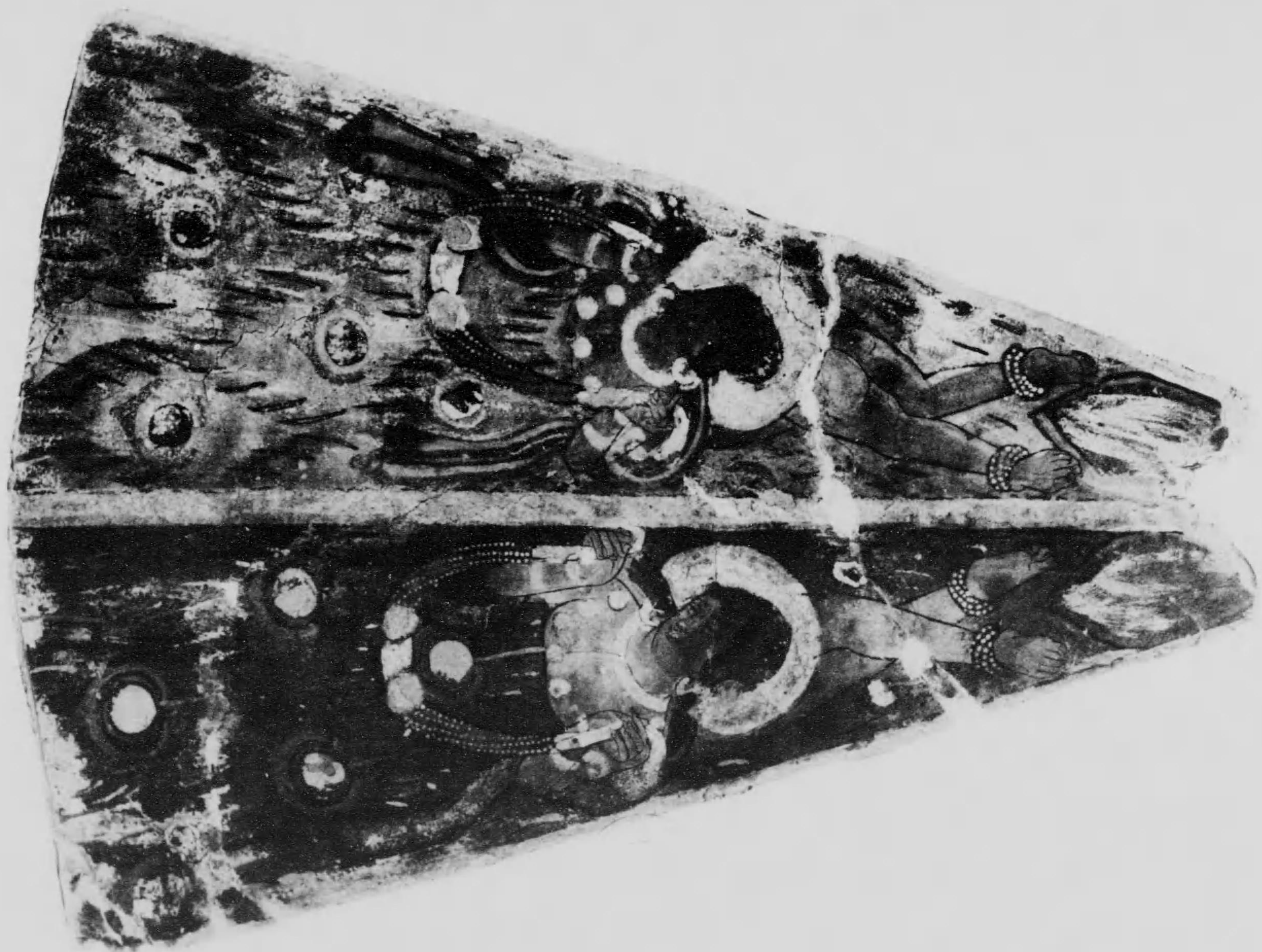


露光量違いの為重複撮影















終